

ごみ排出量（令和5年度）

生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画と削減目標

令和3年6月に策定した生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画では、令和元年度を基準として、令和12年度までに家庭系ごみ排出量を10.8%削減、事業系ごみ排出量を10.5%削減することを目指します。さらに人口減少による4.6%の自然減を足して、市全体のごみ排出量を15.3%削減する目標を定めました。

家庭系・事業系ごみ排出量実績

以下の表は、基準年度となる令和元年度から令和5年度までの家庭系・事業系ごみ排出量実績と、生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画最終年度となる令和12年度の目標排出量を示しています。

【ごみの排出量は減少傾向】
家庭系ごみの排出量は、令和5年度において23,935トンとなり、令和4年度の24,077トンから142トン減少しました。1人1日当たりのごみ量は令和4年度は561g、令和5年度は560gとほぼ変わりませんでした。このため、ごみの減少は主に人口減少によるものと考えられます。

事業系ごみの排出量は、令和5年度において8,325トンとなり、令和4年度の8,384トンから59トン減少しました。

	実績					目標	令和元年度からの削減率				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和12年度	令和2年度 /令和元年度	令和3年度 /令和元年度	令和4年度 /令和元年度	令和5年度 /令和元年度	令和12年度 /令和元年度
人口	119,281	118,621	118,139	117,629	116,819	114,078	-	-	-	-	-
ごみ排出量	33,780	33,601	33,796	32,461	32,260	28,610	0.5%	▲0.0%	3.9%	4.5%	15.3%
家庭系ごみ排出量	24,759	25,342	24,947	24,077	23,935	20,951	▲2.4%	▲0.8%	2.8%	3.3%	15.4%
事業系ごみ排出量	9,021	8,259	8,849	8,384	8,325	7,659	8.4%	1.9%	7.1%	7.7%	15.1%

循環型社会を形成する「5R」の取組

今までの「3R」に新たな2つの「R」（リフューズ、リペア）を加えた「5R」の基本理念のもと、食べ切れる分だけの購入や、いらなくなった食器の回収など、ごみ減量の取組を推進していきます。

- Refuse（リフューズ）断る
- : ごみになるものを断ること
- Reduce（リデュース）発生抑制
- : ごみを発生させないこと
- Reuse（リユース）再使用
- : ものを繰り返し使うこと
- Repair（リペア）修理
- : ものを修理して使うこと
- Recycle（リサイクル）再生利用
- : 資源として再生利用すること